

PTA入退会自由の周知と寛容PTA

ベテランママさん (A) と新人ママさん (B) の会話

A: お子さんが小学校に入学したんだよね。おめでとう。

B: ありがとう。初めて小学生の保護者になるんだけど、小学校のPTAって大変だって聞くけど、ホント？

A: 県外のPTAの中には、平日の昼間に週に何度も学校に行きまして会議や作業をしなければならぬところもあるそうだよ。忙しいPTAはとんでもなく忙しいみたい。

でも沖縄のPTAって他県と違って、両親共働きが多いからなのか、そんなに忙しくしてないし、父親の参加が多いのと教員と酒を酌み交わすことで親交を深めたがる人がPTA役員になっているイメージがあるよ。

B: そもそもPTAって何をやる団体なの？

A: 親と教員が対等な立場で民主主義を学ぶ場所(社会教育団体)としてPTAは作られたんだ。

子どもの健全育成とか学校への協力なんていうのは、PTAの副次的な目的でしかないはずなんだホントは。

でも実際は、学校側に都合の良いお財布であり、無料で働き手を提供してくれる人材派遣会社みたいなPTAが多いよ。

B: それってどういうこと？

A: PTAは本来の崇高な役割や目的を見失って、学校に隷属した学校後援会的なことしかしてないってこと。

B: どうしてそうなっちゃったの？

A: 元々戦後すぐの頃に、日本に民主主義の理念を根付かせようとGHQが輸入したものなんだけど、昭和25年には全国の小中高校の9割の学校でPTAが組織されたそうだから、文科省もPTA普及に尽力したんじゃない。でも日本人の事大主義的思考や横並び好きな面が悪く出てPTAを変にしちゃったと思う。

B: どんなふうに変なの？

A: 初っ端から変なんだ。PTAは入退会自由だということ小五とを保護者に知られないように隠しているんだから。

B: えーっ。PTAって義務なんじゃないの？

A: 昭和25年に、全国のPTA会則の基になったものを文部省が出しているんだけど(小学校「父母と先生の会」(PTA)参考規約)、その中に「この参考規約は、未加入者に対して加入を強制するような意図は全く持っていない。」と書いてあって、PTAは発足当初から入退会が自由なんだ。

最近も文科省生涯学習政策局社会教育課が平成22年5月に出した「平成22年度優良PTA文部科学大臣表彰について」の中に「これは、PTAが任意加入の団体であることを前提に、

できる限り多くの保護者と教師が主体的に参加できるよう組織運営や活動内容の工夫をしている団体を適切に評価できるようにするものです」と書いてある。

入退会が自由であることを保護者に隠すPTAは優良じゃないってことになるんだよ。

B: 知らなかった。でもPTAへの入退会が自由だってみんなに知らせたら、入らない人が増えちゃって困るんじゃないの？

A: 今だって入退会自由って保護者に説明して、ちゃんと入会届を出してもらっているPTAは全国に幾つもあるし、そんなPTAの入会率は結構高いそうだよ。

それに、会員が減るから入退会が自由であることを隠すような団体が「子どもの健全育成」に役立つ団体とは思えないし。

B: そうしたら面倒なことはしたくないって人がPTAに入らなくなっちゃうんじゃない？ それってズルくない？

A: PTAってもともとPTAの目的に賛同した人が入って活動する団体なの。有志が集うボランティアって言ったらいいのかな。

ボランティアって、やりたい人がやって、やりたくない人はやらなくていいものだよ。一般のボランティア団体に入らないからって、「ズルい」って非難するボランティア団体なんてあり得ないし。

B: でもPTA会員の保護者がお金や労力を費やして行なうPTA行事に非会員の子たちが参加したり、PTAが学校に寄付した図書や設備を使うのはやっぱりズルくない？

A: PTAの活動対象はその学校に在籍する「児童・生徒」であって、「会員の子である児童・生徒」ではないよ。PTAが、学校の中で行事を行なうときに非会員の子を除くことは校長が許さないだろうし、会員の子だけを対象に物を配ったり行事をしたいのなら、学校の外でやればいいんだよ。

PTAの寄付した物を非会員の子に使わせないと条件をつけたら、校長が受け取れるわけじゃない。B: それならPTA会則を変えて、活動対象を会員の子にすればいいのかな。

A: 会則の変更はできるだろうけど、一部の児童生徒のために活動する団体になっちゃたら、公共教育を行なう学校の中で活動する大義名分が失われるよ。

それに、既存のPTAに入らない保護者がもうひとつPTAを設立したら、それを認めざるを得なくなっちゃうんじゃない。

B: うーん、それじゃどうしたら良いの？

A: まず、PTAは入退会自由であることを保護者教職員に伝えること。それからPTA会員それぞれが寛容になること。会則も寛容なものに変えることが必要かな。

B: 寛容ってどういうこと？

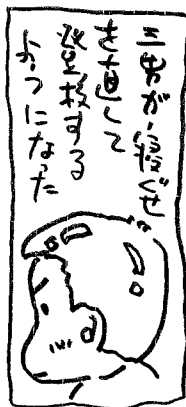
A: 今のPTAが抱える問題の原点は、PTAに入会し活動することが親の義務と思わされていることにあるんだ。

だからそうではなくて、できるときにできる人が無理せずやれるPTAにするんだよ。それぞ

れ家庭環境が異なるんだし、皆が皆同じことができるわけじゃないし。そこを会員皆が理解して互いに寛容なPTA組織作り雰囲気作りをする必要があるんだ。

本来、PTAは義務じゃなくて権利なんだよ。PTAに入れば、自分は、児童生徒のために親たちのために地域社会のためにあれができる、これをやってみようと思えるPTAを自分たち自身が作っていくんだよ。

PTAの大事な役割って、かつて学校で民主主義を学んだ親たちが、もう一度民主主義を学び直すための絶好の場だと思うんだよ。



小五
を保護者に知られないように隠しているんだから。
よつになた
を保護する
さすこ
にやが
水ごめらうたけだ